

SDGsに関する 万国津梁会議 (第6回)

会議資料

2020年11月13日 (金) 10:00-12:00

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



<10:00-10:05>

1. 委員長挨拶

島袋 純

<10:05-10:10>

2. 報告事項

<10:05-10:07>

(1) 第2回ステークホルダー会議の振り返り

<10:07-10:17>

(2) 新たな沖縄振興のための制度提言（中間報告）

<10:17-12:00>

3. 審議事項

<10:17-10:35>

(1) 意見書の提出について

<10:35-12:00>

(2) 最終報告書について

報告事項（1）第2回ステークホルダー会議の振り返り

- 10/29（木）第2回ステークホルダー会議を開催した。
- 同会議では、おきなわSDGsパートナーを対象に意見聴取を行なった。（※別添資料1参照）
- テーマ：おきなわSDGsパートナーの取組事例の共有と理解促進・普及
 - ① 沖縄SDGsパートナーの取組事例の共有
 - ② 沖縄におけるSDGs理解促進・普及のあり方
- 会議終了後もWEBアンケートを通じて意見聴取を行なった。（※別添資料2参照）
- SDGsパートナーのニーズとして、他の組織・機関での取組の把握や、連携・協働・交流の場づくり、プラットフォームの構築などが確認された。
- 成果として、各組織・団体の取組を共有できたこと、パートナー間での個別のマッチングができたことなどが挙げられる。

審議事項（1）意見書の提出について

【意見書提出の背景および対応】

- 9月7日（月）中間報告（2）の知事手交式・意見交換の際に、教育分野でのSDGsの取組が重要であるとの共通認識が得られた。
- また、現在、高校生を対象としたSDGs研修が行なわれるなど、教育機関でSDGsに取り組む気運が高まっている。
- 知事との意見交換や教育現場の状況を踏まえて、教育分野での意見書をまとめることで、委員間で一致した。
- 最終提言と同時並行で教育機関に向けての意見書を作成・提出し、SDGs推進の参考に資する。
- 今月中にも沖縄県知事（→教育現場）に対して9つの提案を行なう（※別添資料3参照）。

【審議のポイント】

- 意見書の内容確認
- 提出方法
- 提出時期

審議事項（２）最終報告書について

- 最終報告書（ドラフト）の作成（※別紙資料4参照）。

【審議のポイント】

- 最終報告書の内容の確認。特に以下の項目について。
- 実施指針（案）項番7. 今後の推進体制（プラットフォーム設置の提案、広報・理解促進等）
- 報告書冒頭に記載する事項（万国津梁会議の実施経緯、実施指針（案）の強調ポイントや指針には記載されない提言等）